

## 2013 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 岡山県立岡山一宮高等学校 ] 担当教諭名 [ 鎌田 理加 ] ( ユネスコ同好会 12名 )  
 交流相手国 [ マレーシア ]  
 海外学校名 [ Montfort Youth Centre ] 担当教諭名 [ 中山 天志(JICA) ]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	クラブ活動	ユネスコスクールの課外活動の一環	80

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	People and Culture in Malaysia and Japan
絵に込めたメッセージ	マレーシアと日本の自然や文化、現地の人々に親しまれている有名人について調べ、互いに伝えあつた後、交流を通してわかったことを背景に、両国の有名な人物8名を一つの食卓に並べて、両国が異なる文化を理解し合い、協調していくことを願って描いた。

①半分完成した時の写真



②全部完成した時の写真



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今まであまり身近でなかったマレーシアについて知り、現地の生徒とスカイプで顔を見ながら交流ができたことで、海外を近くに感じられるようになった。</li> <li>・共同で一枚の絵を完成させることで、海外の相手と通じあえた喜びを感じることができた。</li> </ul>	<p>フォーラムを通じての交流は、担当教師が生徒の書いた文章をまとめて入力して交流していたため、やりとりの回数が多いと持てず、生徒同士の直接的なざっくばらんな会話ややり取りがあまりできなかった。</p>

■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の山陽新聞で取り上げていただいた。</li> <li>・岡山市役所が管理する“岡山 ESD なび”というネット上のサイトに活動を紹介させていただいた。</li> </ul>	<p>校内に掲示をしたところ、多くの先生方や生徒が足を止めて絵や活動内容をまとめたポスターを見てくださった。また「すばらしい取り組みですね。」等の言葉もかけていただき、生徒は自分たちの活動に誇りを持つようになった。</p>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	9月	・英語で自己紹介を書き、その写真をフォーラムに掲示。 ・日本や岡山、一宮高校について英語で紹介するための準備。	最初は相手がわからないので、あまりピンと来ていない様子だったが、楽しそうに自己紹介文を作っていた。	部活動
情報収集	10月	・マレーシアについて調べ発表 ・本校のインドネシア人非常勤講師の方から東南アジアの文化や風土について話を聞く。	班に分かれて、インターネットでマレーシアについて調べ理解を深めた。インドネシア人講師の先生からは現地の地理や食文化等について話していただき、興味を持って聞いていた。	部活動
テーマ検討	11月	・フォーラムに壁画デザインの下書きを書いて提案。フォーラムで相手と意見交換を行い、デザイン決定。 ・スカイプを使って、互いに自国や自分の学校について英語で紹介しながら交流を行った。	マレーシアの食文化に興味を持ち、人々が食卓を囲んでいる様子を描きたいという希望が出た。そこから人物や背景をどうするか、全員で話し合いながら下絵を考えた。	部活動
制作	12月	・放課後を使って制作。	試験期間と重なって忙しかったが、皆放課後少しずつ時間を作り、集中して描いた。	部活動
鑑賞	1・2月	・共同制作した絵の鑑賞	スカイプで完成された絵を見て歓声が上がった。日本に届けられた絵の裏にサインが書かれていたのを見て、相手とのつながりを実感したようである。	部活動

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:あまり重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	5	日本の文化や自分たちの住む町、学校について改めて調べることで、自文化への理解が深まった。
異文化の理解	A	5	マレーシアの気候や自然、文化などを調べるうちに同じアジアの国でも違う点が多々あることに気付いた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	A	5	スカイプを使って交流するために、英語でわかりやすく伝えるために、表現を工夫していた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	C	4	インターネットでマレーシアや日本のことについて調べることができた。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	B	4	スカイプで相手の顔を見て、手を振ったり積極的に相槌を打ったりして、常に笑顔で相手を楽しませようとしながら交流した。
協働する力 (役割分担・協力)	B	4	調べ学習をしたり、まとめのポスターを作る際、自分たちで話し合っって役割分担をし、全員が協力して関わられるようにしていた。
学習を追究する意欲	B	4	ゲストにインドネシア人非常勤講師の先生をお呼びした時も、興味深く話を聞いたり積極的に質問をしていた。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	B	4	交流で見聞きたり調べたことを、うまく一枚の絵にまとめていた。
作品を鑑賞する力	B	3	相手と自分たちの描いた絵を見て、描き方の違いなど様々な点に気づき面白いと感じていた。また相手が絵を丁寧に完成させてくれたことに感動していた。

